皿式フードカッター

取扱説明書

皿式フードカッター

型式/**SC-350A**

- このたびは、プロシェフ 皿式フードカッターをお買い求めいただきましてまことにありがとうございました。
- この製品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。なお、正しくご使用されなかった場合は、保証対象外となります。
- お読みになったあとは必ずいつも手元においてご使用ください。

お客様用

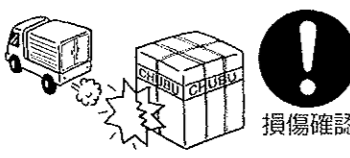
もくじ

CHUBU
株式会社 中部コーポレーション

安全上のご注意

●ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
●表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が、想定される内容を示します。
⚠ 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、*物的損害の発生が、想定される内容を示します。

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

感電注意	△は、注意（危険、警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
分解禁止	⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「分解禁止」を示します。
プラグを抜く	●は、強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差込みプラグをコンセントから抜くこと」を示します。

⚠ 警告

お手元に届いたら、すぐに運送上の損傷がないかチェックすること

もし損傷があれば販売会社へ損傷の状況を（梱包箱と共に）連絡してください。損傷のまま使用しますと、感電、火災、ケガの原因となります。

損傷確認

屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されますと、漏電・感電の原因になります。

屋外禁止

アース工事を必ず行なうこと

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。（電気工事業者によるD種接地工事が必要です。）

アース工事

湿気の多い所や、水のかかり易い場所に据え付けないこと

絶縁低下から漏電、感電の原因になります。

湿気禁止

電源は専用コンセントを使用すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用及びタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。

専用電源

この製品は業務用ですので子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところに設置しないこと

感電、ケガの原因になります。

禁止

⚠ 警告

製品に直接水をかけないこと

ショート、感電、錆び、故障の原因になります。

水掛け禁止

漏電遮断器を使用している場合、OFF（切）に作動した時には、最寄りの販売会社へ連絡すること

無理にON（入）にすると、感電や火災の原因になります。

漏電連絡

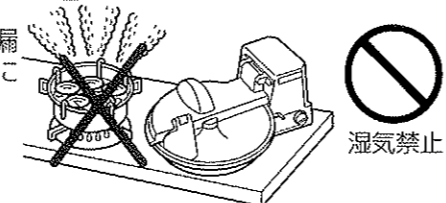
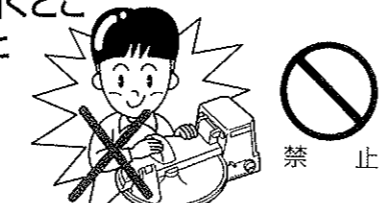
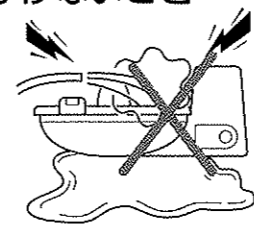
電源コードを傷つけたり、汚さないこと

加工したり、引張ったり、たばねたり、重いものを載せたり、はさみ込んだり、また汚したりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。

禁止

異常時は、電源スイッチをOFF（切）にして電源プラグを抜くか、元電源を切って、すぐに最寄の販売会社へ連絡すること

異常のまま運転を続けると感電、火災の原因になります。

プラグを抜く

電源プラグの刃及び刃の取り付け面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタツキのないように刃の根元まで確実に差し込むこと

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。

点検掃除

刃物の取り付け、取り外しは、必ず電源スイッチをOFF（切）にして電源プラグを抜き、手袋をはめて行い、刃先に直接手を触れないこと

ケガの原因になります。

プラグを抜く

濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと

感電の原因になります。

濡手禁止

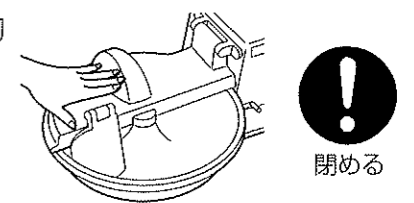
修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理しないこと（お手入れ作業は除く）

異常作動してケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。

分解禁止

運転中に皿カバーを開けたり、回転皿の中に手を入れないこと

ケガの原因になります。

禁止

改造は絶対におこなわないこと

改造工事をされると、感電、火災の原因になります。

改造禁止

皿カバーを開けているときは、刃物に十分注意すること

ケガの原因になります。

刃物危険

運転時は、必ず皿カバーを閉めること

刃物で、手や指を切ることがあります。

閉める

掃除や点検・刃物交換のときは必ず電源スイッチをOFF（切）にして電源プラグを抜き、手袋をはめておこない、刃先に直接手を触れないこと

ケガの原因になります。

素手禁止

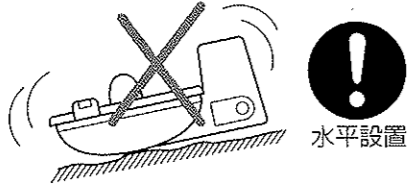
刃物の取り扱いには、必ず手袋を着用し、刃先に直接手で触れないこと

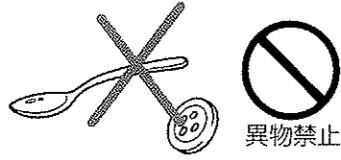
ケガの原因になります。

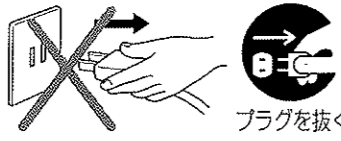
手袋着用

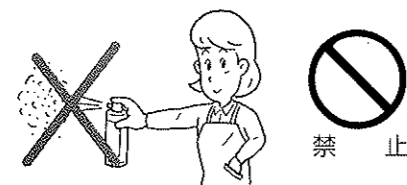
⚠ 注意

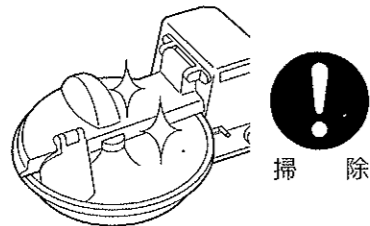
丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

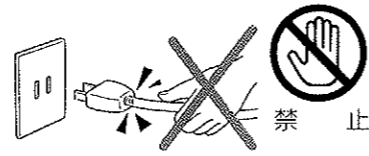
据え付けに不備があると転倒、落下によるケガなどの原因になることがありま

回転皿の中に食材以外の異物（スプーン・つま楊枝・ボタンなど）は入れないこと

モーターが止まり、発熱、火災の原因になることがあります。

掃除するときや点検のときは、必ず電源スイッチをOFF（切）にし、電源プラグも抜くこと

思わぬところに水が入って感電したり、また、製品が動き出して、ケガの原因になります。

可燃性スプレーを近くで使用したり、揮発性、引火性のあるものを置かないこと

スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。

回転皿・皿カバーは使用前に必ず掃除をすること

掃除をしないと、雑菌が繁殖し、健康傷害の原因になることがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引張るとコードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。

禁　止

１日の営業が終了したら、安全のため電源スイッチをOFF（切）にし、電源プラグをコンセントから抜くこと

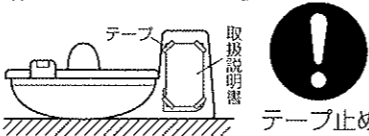
電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になることがあります。

プラグを抜く

廃棄は専門の業者か、最寄の販売会社に依頼すること

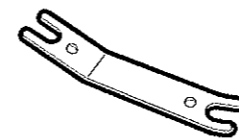
放置しますとケガの原因になることがあります。

このお使いになっている製品を他に売ったり、譲渡されるときは、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を製品本体の目立つ所にテープ止めすること

各部のなまえとその働き

■使用目的

●野菜・肉をみじん切りにする製品です。

■本体

■付属品

■注意ラベルの貼付位置

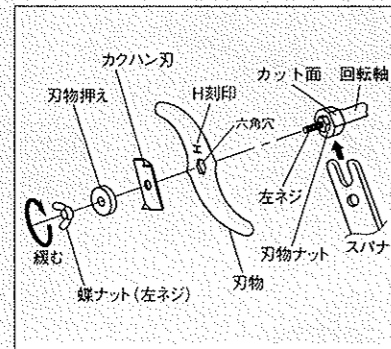
お願い

- ●ラベルを剥がさないでください。
- ●ラベルが剥がれたり、文字が消えたりした場合は、販売会社より購入し、貼り替えてください。
  ご注文のときは、ラベルの品名をご指示ください。

品名：PLラベル 909

刃物の交換方法

1.コンセントから電源プラグをはずす。
2.皿カバーをはずす。
3.回転軸のカット面にスパナを入れて回転軸がが回らないように固定する。
4.蝶ナットを手で持ち右に回してはずす。(左ネジになっています。刃物が手に触れないように十分ご注意ください。)
5.刃物をはずし、新しい刃物をはめます。この時、刃物の六角穴が刃物ナットに確実にはまっていること。
6.蝶ナットを締めて刃物を固定します。この時、刃物の「H」の刻印が右図のように見えるように取付けること。

刃物部詳細図

(注)刃物の取扱いは危険ですので、必ず手袋を着用してください。

(皿カバー上面に貼り付けてあります。)

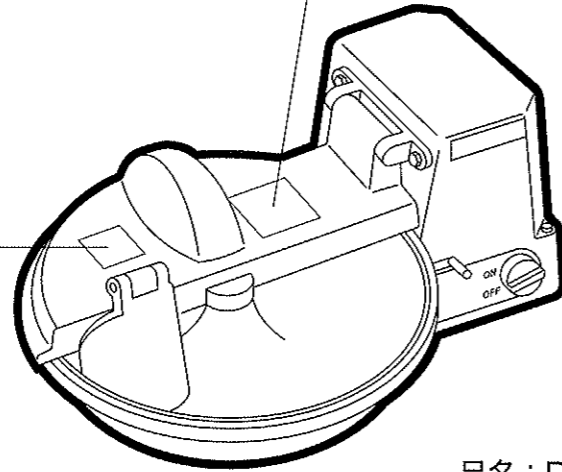
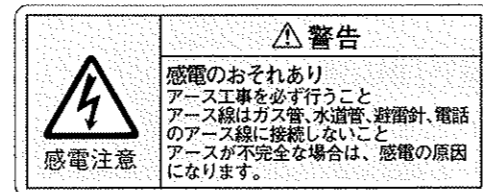
品名：PLラベル 707

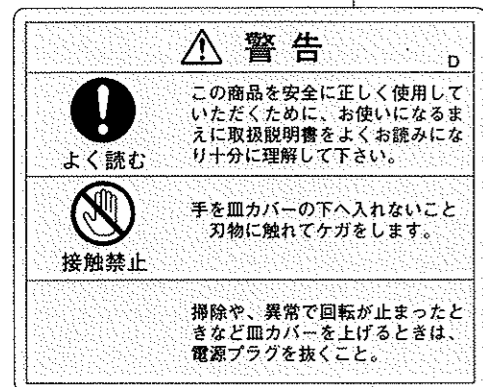
⚠ 警 告 D

よく読む	この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになるまえに取扱説明書をよくお読みになり十分に理解して下さい。
接触禁止	手を皿カバーの下へ入れないこと 刃物に触れてケガをします。
	掃除や、異常で回転が止まったときなど皿カバーを上げるときは、電源プラグを抜くこと。

(皿カバー上面に貼り付けてあります。)

品名：PLラベル／カンデン 702

感電注意	⚠警告 感電のおそれあり アース工事を必ず行うこと アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないこと アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

(本体ベース右側面に貼り付けてあります。)

設置と運転前の確認

■設置

⚠ 警告

アース工事を必ず行なうこと

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。（電気工事業者によるD種接地工事が必要です。）

アース工事

電源は専用コンセントを使用すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用及びタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。

専用電源

屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されますと、漏電・感電の原因になります。

屋外禁止

この製品は業務用ですので子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところに設置しないこと

感電、ケガの原因になります。

禁　止

湿気の多い所や、水のかかり易い場所に据え付けないこと

絶縁低下から漏電、感電の原因になります。

湿気禁止

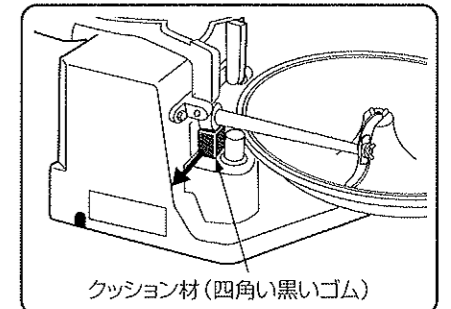
⚠ 注意

丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

据え付けに不備があると転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。

水平設置

■運転前の確認

- ●**電源は交流100Vに接続してください。**
  使用電源電圧は90V～110Vでお使いください。但し発電機は使用しないでください。発電機使用時の故障は保証いたしません。
- ●**初めてお使いになる時は、保管時にホコリ・ゴミなどが回転皿・皿カバー内などに入っている恐れがありますので掃除をしてください。**
- ●**輸送中の衝撃等で回転軸が下がらないようにクッション材が装着されていますので、初めてお使いになるときは、このクッション材を取り外してください。**
- ●**クッション材の取り外し方。**
  右図の矢印方向へ引くと外れます。

ご使用方法

⚠ 警告

運転中に皿カバーを開けたり、回転皿の中に手を入れないこと

ケガの原因になります。

禁　止

異常時は、電源スイッチをOFF（切）にして電源プラグを抜くか、元電源を切って、すぐに最寄の販売会社へ連絡すること

異常のまま運転を続けると感電、火災の原因になります。

プラグを抜く

濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと

感電の原因になります。

濡手禁止

運転時は、必ず皿カバーを閉めること

刃物で、手や指を切ることがあります。

閉める

⚠ 注意

可燃性スプレーを近くで使用したり、揮発性、引火性のあるものを置かないこと

スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。

禁　止

１日の営業が終了したら、安全のため電源スイッチをOFF（切）にし、電源プラグをコンセントから抜くこと

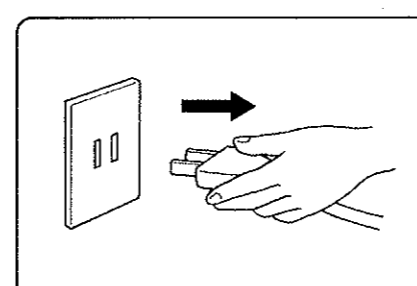
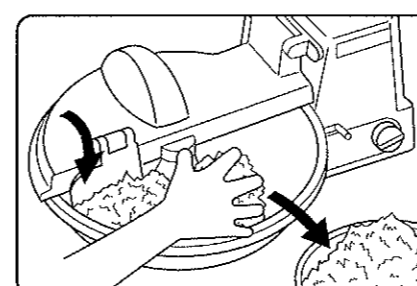
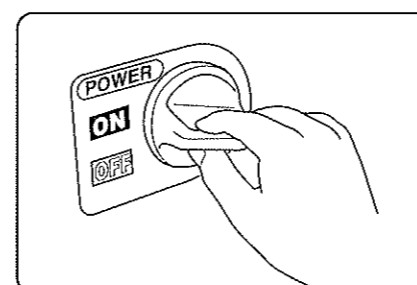
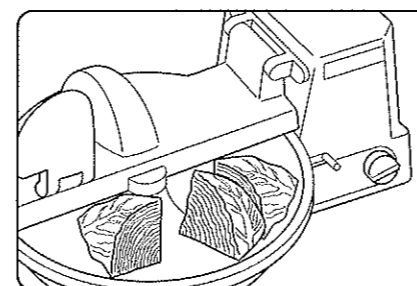
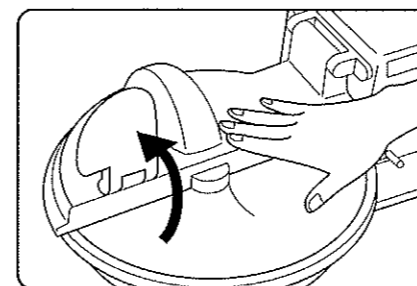
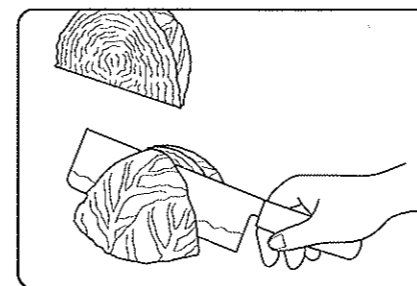
電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になることがあります。

プラグを抜く

回転皿の中に食材以外の異物（スプーン・つま楊枝・ボタンなど）は入れないこと

モーターが止まり、発熱、火災の原因になることがあります。

異物禁止

■運転の手順

1 食材を用意する。

●みじん切りにする野菜や肉をあらかじめ回転皿に入る大きさ約7㎝角に切っておきます。

2 皿カバーを閉める。

●皿カバーを閉め、取出板を皿カバーの上に上げてください。

3 食材を入れる。

●回転皿に食材を入れてください。

4 電源スイッチを入れる。

●電源プラグをコンセントに差し込んでください。
●電源スイッチをON（入）にしてください。
　皿・刃物が回転します。
※皿カバーの中には絶対に手を入れないでください。ケガをします。

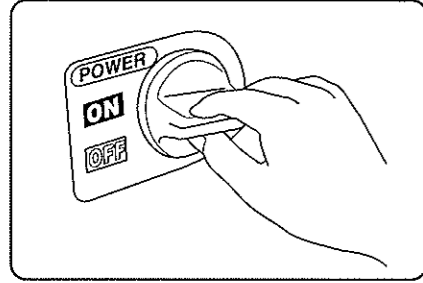
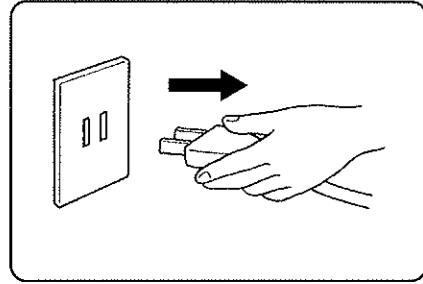
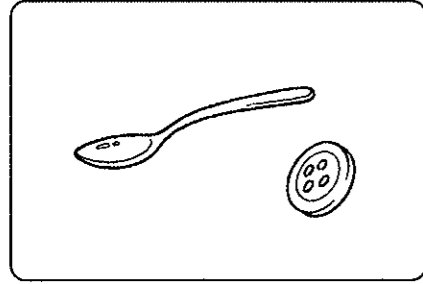
5 食材を取り出す。

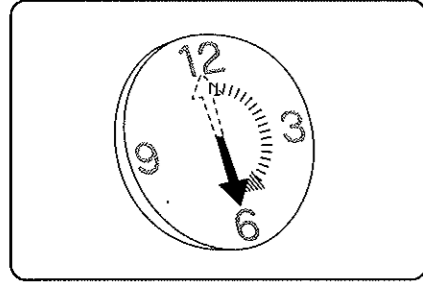
●お好みの粗さになったら、取出板を下げて食材を集めてください。
●電源スイッチをOFF（切）にし、食材を取り出してください。

6 使用後は電源プラグを抜く。

●一日の営業が終了したら、電源プラグをコンセントから抜いてください。

■プロテクターについて

●本製品は、定格時間が「25分」です。それ以上連続使用するとモーターが過熱し、プロテクターが作動して製品が停止します。又、負荷がかかり過ぎた時にも同様に製品が停止します。
●プロテクターはモーターに内臓しております。
●作動したときは、次の処置をしてください。

1 電源スイッチをOFF（切）にしてください。

2 コンセントから電源プラグを抜いてください。

3 過負荷の原因を取り除いてください。

●食材・食材以外の異物（スプーン・つま楊枝・ボタンなど）、を取り除いてください。又、刃物に損傷がないか確認してください。

4 30分放置してください。

●モーターの温度が下がり、自動的に復帰いたします。

※プロテクターがたびたび作動する場合は販売会社にご相談ください。

■安全スイッチについて

●運転中に皿カバーを開けると危険防止のため、安全スイッチが働き、製品が停止します。
●安全スイッチを電源スイッチのかわりに使うことは絶対にしないでください。故障の原因になります。

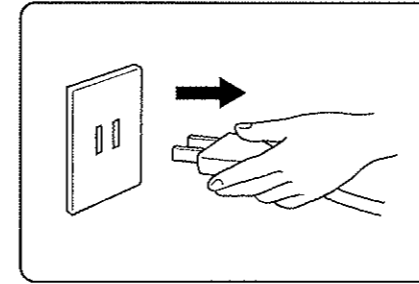
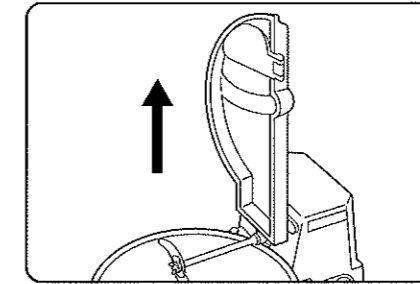
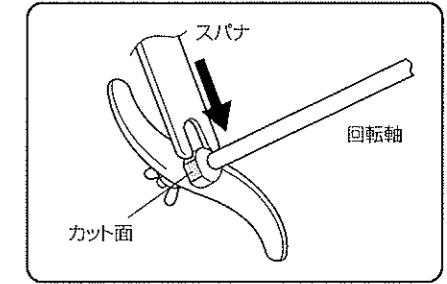
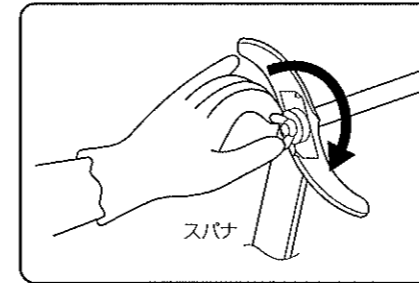
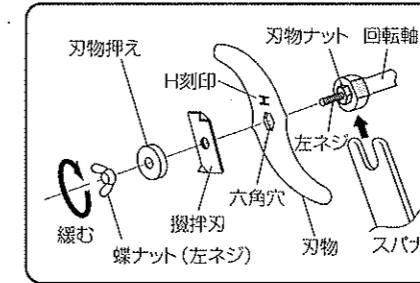
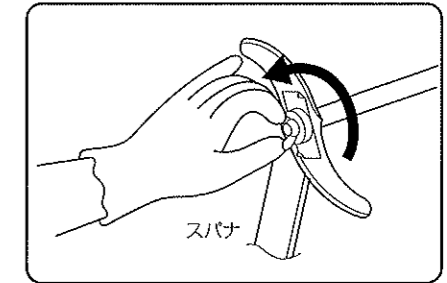
刃物の交換のしかた

⚠ 警告

刃物の取り付け、取り外しは、必ず電源スイッチをOFF（切）にして電源プラグを抜き、手袋をはめて行い、刃先に直接手を触れないこと

ケガの原因になります。

プラグを抜く

■刃物の取り外し・取り付け方

1 電源スイッチをOFF（切）にし、コンセントから電源プラグを抜いてください。

2 皿カバーを垂直に立て、上に抜いてください。

3 回転軸のカット面にスパナ（付属品）を掛け、回転軸が回らないよう固定してください。

4 蝶ナットを手で持ち、時計方向に回して外してください。（左ネジ）刃物を外してください。

5 刃物の刻印Hが手前になるようにして、刃物ナットに確実に嵌め込んでください。
刃物を反対（刻印が見えない）に付けると食材が切れません。

6 蝶ナットを反時計方向に締めて刃物を固定し、スパナを外してください。

お手入れ

⚠警告

製品に直接水をかけないこと

ショート、感電、錆び、故障の原因になります。

水掛け禁止

濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと

感電の原因になります。

濡手禁止

皿カバーを開けているときは、刃物に十分注意すること

ケガの原因になります。

刃物危険

刃物の取り扱いには、必ず手袋を着用し、刃先に直接手で触れないこと

ケガの原因になります。

手袋着用

掃除や点検・刃物交換のときは必ず電源スイッチをOFF(切)にして電源プラグを抜き、手袋をはめておこない、刃先に直接手を触れないこと

ケガの原因になります。

素手禁止

⚠注意

掃除するときや点検のときは、必ず電源スイッチをOFF(切)にし、電源プラグも抜くこと

思わぬところに水が入って感電したり、製品が動き出して、ケガの原因になります。

プラグを抜く

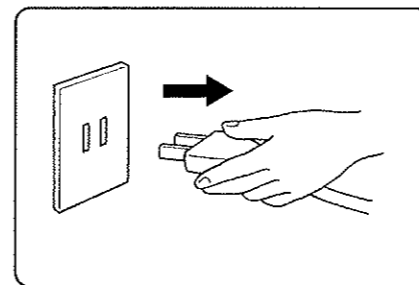
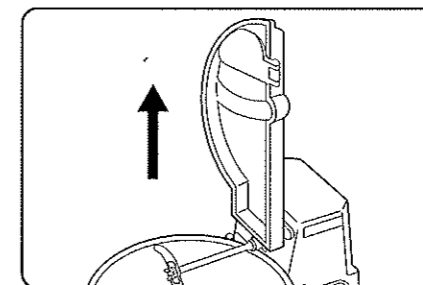
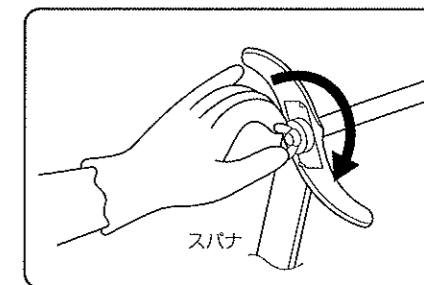
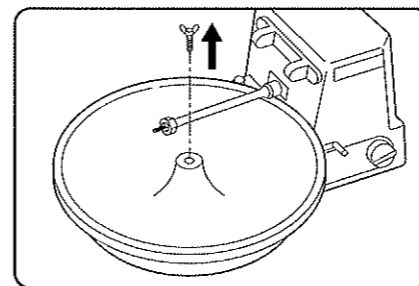
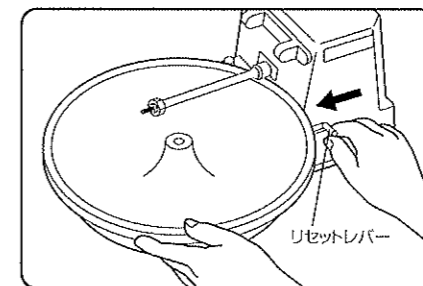
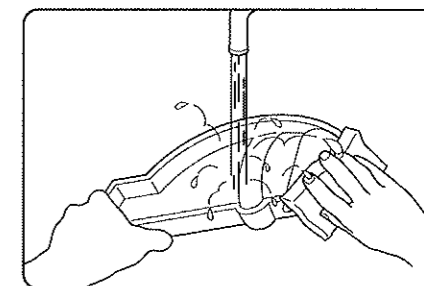
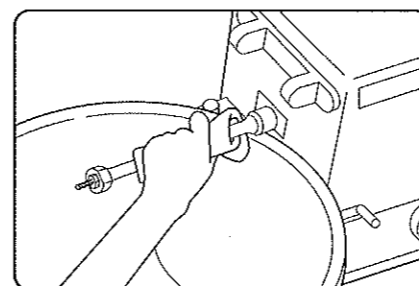
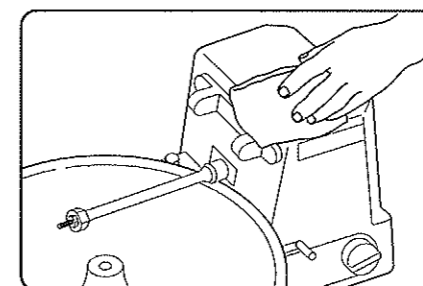
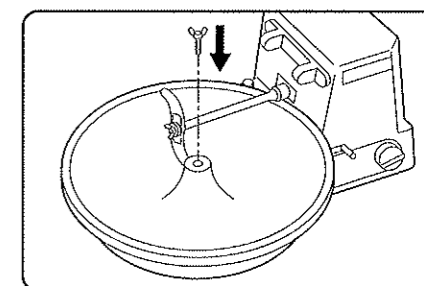
可燃性スプレーを近くで使用したり、揮発性、引火性のあるものを置かないこと

スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。

禁　止

お願い

●塗装面をいためますので、つぎのようなものは使わないでください。シンナー・ベンジン・アルコール・石油・粉石けん・みがき粉・アルカリ性洗剤・酸・次亜鉛素酸ソーダ・たわしなど。なお、化学雑巾をご使用のときは、その「使いかた」に従ってください。

■ご使用後のお手入れ

1 電源プラグを抜く
電源プラグをコンセントから抜いてください。

2 皿カバーを外す
皿カバーを垂直に立て、そのまま上に上げてください。

3 刃物を外す
「刃物の取り外し・取り付け」を参照（P.10）

4 蝶ボルトを外す
回転皿を固定している蝶ボルトを手で反時計方向に回して取り外してください。

5 回転皿を外す
リセットレバーを回転皿の方向に引き、回転皿を持ち上げて取り外してください。

6 洗浄する
皿カバー・回転皿・刃物・蝶ナットを水洗いし、乾いた布で水気を取って、よく乾燥させてください。

7 回転軸を掃除する
お湯を含ませた布巾で拭いてください。

8 外部の掃除をする
外部はぬるま湯を含ませた布巾で拭いてください。

9 組み立てる
5～2の逆手順で組み立ててください。

■汚れが目立つときのお手入れ（本体外面）

●中性洗剤を入れたぬるま湯を含ませた布巾で拭いた後、洗剤分が残らないように水を含ませた布巾で拭き取ってください。

点検

■1年に1～2回の点検

⚠警告

電源プラグの刃及び刃の取付面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタツキのないように刃の根元まで確実に差し込むこと

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。

点検掃除

電源コードを傷つけたり、汚さないこと

加工したり、引張ったり、たばねたり、重いものを載せたり、はさみ込んだり、また汚したりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。

禁　止

アース線の点検

●アース線は切れたり、接続部がゆるんでいませんか？

異常がある場合は、電気工事店に依頼してください。

電源コード・プラグの点検

●専用コンセントを使用されていますか？

他の機器と共用になっているときは、専用コンセントに差し換えてください。

●電源プラグの刃の取り付け面及びコンセントに、ホコリが溜まっていませんか？

ホコリがついている場合は、ホコリを取り除いてください。

●電源コードが傷ついたり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだり、汚れていませんか？

異常がある場合は販売会社または、電気店に相談してください。

■保管方法

一週間以上使用しないときは、製品を十分に乾燥させてから、湿気のないところに保管してください。

故障の見分け方と処置方法

⚠警告

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理しないこと（お手入れ作業は除く）

異常作動してケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。

分解禁止

お願い

●故障かな？と思ったら、次のことをお調べください。それでも具合の悪いときは、販売会社または最寄りの当社各営業所へご連絡ください。
販売会社へ連絡するときは、型式・製造番号・据付年月日と故障状況をお知らせください。

現　　象	お調べいただきたいところ	処　置　方　法
刃物が回らない	●電源プラグが抜け落ちていませんか？	●コンセントに差し込んでください。
	●プロテクターが作動していませんか？	●プロテクターの項参照（P.9）
刃物が外れない	●切削屑などがつまっていませんか？	●切削屑などを取り除いてください。
食材の切れ味が悪い	●刃物が摩耗していませんか？	●刃物を交換してください。
食材が切れない	●刃物が反対に取り付いていませんか？	●刃物の交換のしかたの項参照（P.10）

譲渡・廃棄

■譲渡

⚠注意

このお使いになっている製品を他に売ったり、譲渡されるときは、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を製品本体の目立つところにテープ止めすること

テープ止め

■廃棄

⚠注意

廃棄は専門の業者か、最寄りの販売会社に依頼すること

放置しますとケガの原因になることがあります。

専門業者

MEMO

仕様

品名	皿式フードカッター
型式	SC-350A
電源	単相100V 50/60Hz
消費電力	180／210W
定格時間	25分
質量	14kg
外形寸法	幅549×奥行407×高さ211㎜
皿容量	約6ℓ